

2009年

## 春 どうそ 満 議員活動報告



発行責任者 道祖 満  
飯塚市鯉田2525-44  
TEL 25-3280・22-9323

つくります!  
newしんいづがライフ

飯塚市議会議員 どうそ 道祖 満

e-mail:m.douso@fmwu.or.jp

### みよし野の高嶺のさくら散りにけり

### 嵐もしろき春のあけぼの

(後鳥羽院)

皆様、お元気でお過ごしでしょうか。

家の前の公園にある彼岸桜と、桜（染井吉野）の開花は、今年は重なる様に咲きましたが、（この議員会活動報告を皆様に見て頂く頃には、葉桜となっていると思います。）暖かくなったら冷え込みが戻ってきて、桜（染井吉野）の花は意外と長く咲いています。日頃の不摂生の為か、わたしは久しぶりに風邪を引きました。

さて、飯塚市議会では、平成21年2月23日から3月25日まで3月定例市議会が開催され平成21年度の飯塚市の各会計の予算の審議と条例関係議案の審議が行われました。

また、4月2日より4月6日まで臨時市議会が開催され、任期後半2年間の常任委員会の所属変更等が行われました。

わたしは、平成19年の改選後市議会の推薦で飯塚市の監査委員に任命されていましたが、平成20年3月30日付けで辞任させて頂きました。

また、前半の2年間は、市民経済常任委員会に所属していましたが、後半の2年間は厚生常任委員会に所属することになりました。

議会選出各種委員には、前半に引き続き、都市計画審議会委員、飯塚地区防犯協会理事に任命されました。

（4月からリニューアルオープンした長崎街道内野宿「長崎屋」で提供されるスローフード試食会に松本議員と参加致しました。2月15日長崎屋前）



## 平成21年3月定例市議会報告

平成21年3月定例市議会が、2月23日から3月25日まで開催されました。

今回の定例市議会では、定額給付金に関する「平成20年度飯塚市一般会計補正予算(第4号)」他、4特別会計の20年度補正予算についての審議と、「平成21年度飯塚市一般会計予算」と、13特別会計の21年度予算についての審議と、「平成21年度飯塚市水道事業会計予算」と、3企業会計の21年度予算についての審議と、平成21年度についても飯塚市文化会館を市の直営で管理運営を行うことを目的とする「飯塚市文化会館の管理の特例を定める条例の一部を改正する条例」等の29条例案件についての審議、「教育委員会委員の選任につき議会の同意を求めること」等の11人事案件についての審議、9件の報告議案、12件の議員提出議案についての審議が行われました。

「平成21年度飯塚市一般会計予算」の主なものは、国庫補助で平成21年度から23年度までの3年間の実証運行を行うコミュニティバス運行事業(地域公共交通活性化等事業活用)1億1340万3千円。平成20年10月の県の制度一部改正により義務教育就学前まで医療費を無料化とする乳幼児医療費2億1730万2千円。平成22年度から26年度までの5年間の次世代育成支援行動計画(後期)策定委託料378万円。県の森林環境税を活用し全額補助で市内約2000haの未整備民有林を対象に平成20年度から29年度までの10年間間伐・枝落を行う荒廃森林再生事業委託料2902万1千円。旧久世ヶ浦住宅敷払い下げに向け確定測量委託料600万円。企業誘致を目指し名古屋市で開催予定の企業誘致インフォメーションセミナー費132万5千円。緊急雇用対策として(20人を6ヶ月間雇用予定)2029万円。等で総額540億500万円となっています。

条例議案の主なものは、

- ◎ 防災行政無線整備設置工事の契約の締結(請負契約額5億7592万6050円)
- ◎ 弁分公営住宅建設(4期)工事の契約の締結(請負契約額4億742万6250円)
- ◎ 伊岐須小学校大規模改造(その3)工事の契約の締結(請負契約額1億3797万6300円)
- ◎ 飯塚市国土利用計画を定めること(国土利用計画法に基づき市の国土利用計画を定めるもので、基本理念は、暮らしやすさが確保された生活圏の形成・環境にやさしく、美しく豊かな自然を次世代につなぐ都市の形成・活力と連携を高め、地域の活性化を支える土地利用・市土の有効活用と市民協働による土地利用の推進となっています。)
- ◎ 飯塚市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例の一部を改正する条

例(指定管理者選定評価委員会を設置し、指定管理者選定委員会に、指定管理施設の管理運営の状況についての評価等を加える業務を兼ねさせる内容の提案でしたが、評価委員会は選定委員会と別の構成で指定管理施設の管理運営評価をする様に一部修正して可決しました。)

- ◎ 飯塚市附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例(こどもの読書活動推進計画について調査審議するため「飯塚市子ども読書活動推進計画策定委員会」を設置することを目的とした条例。)
- ◎ 飯塚市手数料条例の一部を改正する条例(住民基本台帳カードの交付手数料500円を平成21年度、22年度に限り無料とすることを目的とした条例。)
- ◎ 飯塚市民プール条例の一部を改正する条例(筑穂市民プールを4月1日より筑穂中学校の体育施設に用途変更し、穂波市民プールを平成22年度から指定管理者による管理に移行を目的とした条例。)
- ◎ 飯塚市市営住宅条例の一部を改正する条例(公営住宅・改良住宅・共同施設の維持、修繕を平成22年度から指定管理者による管理、運営することを目的とした条例ですが、この条例案は、市営住宅の管理運営について望ましい在り方について更に検討する必要性があるとして継続審査となりました。)

飯塚市09年度当初予算案

0.2%減(前年比)の540億円

不況で市税減 子育て支援など重視

飯塚市は十六日、総額五百四十億五百万円の二〇〇九年度一般会計当初予算案を発表した。前年度当初比〇・二%減。不況で市税の大幅な減収を  
見込むが、斉藤守史市長は会見で、子育て支援や防災無線整備に重点を置くことを説明し「財政を打ち出した」と語った。

た。二十三日開会予定の三月定例会市議会に提案する。  
歳入では、市税が同6・3%減の約百三十億四千万円。地方交付税は百五十一億円、市債発行額は約四十五億九千万円に達した。  
歳出では、行財政改革に伴う職員数の減少で人件費同2・0%減の約八十億円に抑えた。しかし、生活保護世帯は増加し、扶助費の総額約百六十二億五千万円で、歳出の約三割を占める。

2009年(平成21年) 2月17日 西日本新聞

西日本

新聞

2009年(平成21年)

2月17日 火曜日

また、同市議会運営委員会は同日、三月定例会を、二十三日から三月二十五日まで三十一日間と申し合わせた。代表、一般質問は三月九、十一、十二日を予定。

## 小・中学校の給食費値上げに反対。

わたしは、平成21年4月1日から、小学校の給食費を、600円値上げして3900円、中学校の給食費を、780円値上げして4700円とする、「学校給食事業特別会計補正予算（第1号）」に反対致しました。

平成18年3月に1市4町が合併後、給食費は、「学校給食事業特別会計予算」が設けられ、学校給食の賄い材料費は、全て給食費で賄われることになりました。

この特別会計の平成18年度の決算では、小・中学校の給食費未納者は567人で現年度分の収入未済額は837万9947円でした。

また、平成19年度の決算では、給食費未納者は531人で現年度分の収入未済額は903万1245円でした。

監査委員の審査意見書では、収入未済額が生じないように徴収の努力をするように指摘して来ています。

厚生文教委員会でも、この点については質疑がありますが、わたしも保護者の方から給食費未納についての実態が詳しく説明されていないとの、ご意見を聞いています。

給食費の値上げは、栄養バランスを考え値上げすると説明されていますが、給食費は賄い材料費であるので、給食費未納者が多くいる状況が続けば再度、値上げする状況にも成りかねませんので、値上げをする前に収入未済額を減らすことが必要であると考え、この「学校給食事業特別会計補正予算（第1号）」については反対致しましたが、賛成多数で可決されました。

## 常任委員会の所管変更

常任委員会の名称と所管の変更するため「飯塚市議会委員会条例の一部を改正する条例」が提案され可決されました。

この条例では、これまでの厚生文教委員会、市民経済委員会、建設委員会の所管を変更し、厚生委員会、市民文教委員会、経済建設委員会と名称を変更する。

- ◎ 厚生委員会は、児童社会福祉部に関する事項、保険福祉部に関する事項、市立病院に関する事項を所管とする。
- ◎ 市民文教委員会は、市民環境部に関する事項、教育委員会に関する事項を、市民・文教委員会の所管とする。
- ◎ 経済建設委員会は、経済部に関する事項、公営競技事業部に関する事項、都市建設部に関する事項、上下水道局に関する事項、農業委員会に関する事項を所管する。とし4月1日から施行することになりました。

## 議員提出議案として意見書を提案

今回の定例市議会では、民友クラブから議員提出議案として次の5件の意見書を提案しましたが、全会一致で飯塚市議会の意見書として政府に送付することになりました。

### ◎ 地方財政制度の抜本的改革を求める意見書

厳しい地方の財政状況を踏まえ、住民が必要とする行政サービスを維持するため、地方の財源を安定的に確保すること。すべての国庫補助負担金を、原則として地方公共団体がその裁量によって用途を決める事が出来る一括交付金に改めること。一括交付金の交付にあたっては、住民の生活に不可欠な行政サービスの維持に必要な額を確保すること。財政調整機能と財源保障機能を強化した新たな財政調整制度の創設により、地方間格差の是正を図ること。

### ◎ 年金記録問題の速やかな解決を求める意見書

年金記録問題の解決には、社会保険庁、厚生労働省、総務省のみならず全省庁と民間企業・民間団体に協力を要請して取り組むこと。全国の社会保険事務所や市町村に散在している手書きの台帳とコンピューター記録とを短期間のうちに照合しコンピューター記録を正確なものにすること。年金記録の訂正が行われた受給者の方が、正しい年金額を迅速に受け取れることが出来るようにするため、再裁定処理に関する業務の効率化を図ること。年金記録確認第三者委員会における年金記録訂正に係る苦情のあっせんの際は、ご本人に保険料納付の証拠等がない場合や、不適正な事務処理等によって記録が変更された疑いがある場合には、ご本人の立場に立って記録を訂正すること。

### ◎ 医療提供体制の拡充に関する意見書

医療提供体制の建て直しのために十分な財源を確保すること。医療従事者が不足している地域の要望を受け、自治体病院など医療機関に対して医師派遣の要請・あっせん等を行う機関を国や地方に設置すること。医師の交代勤務制の促進、不払い残業の是正、当直を夜間勤務と位置づけることなど、病院勤務医の勤務条件を改善すること。医療従事者が子育てや介護をしながら勤務を継続、あるいは復職しやすいよう、病院内保育所の整備など仕事と家庭の両立支援を拡充すること。また、一時休業中、離職した医師や医療従事者の復帰のための研修制度などの整備を促進すること。実働医師数の正確な調査を行い、高齢化の進展に伴う医療需要増や医師の勤務条件改善を考慮した必要医師数を推計し、医師養成計画を策定すること。当面は、先進国並みの人口当たり医師数を目指し、大学医学部の定員を大幅に増員すること。

## ◎ 教育予算の大幅な拡充及び高校教育の無償化を求める意見書

意欲と能力に応じた教育が受けられよう、教育予算の大幅な拡充を図るとともに、公立高校の授業料を実質的に無償かすること。同時に私立高校通学者への授業料補助を検討し、公私間格差の軽減に取り組むこと。

## ◎ 子育て支援策の拡充を求める意見書

政府は、次世代育成支援策の拡充のための財政措置をはじめ、必要な施策を講ずること。要保護児童が家庭的な環境において個別的なケアを受けることができるよう、里親委託や小規模居住型児童養育事業の推進、児童養護施設等の施設の小規模化の推進などにより、体制整備を行うこと。法律上位置づけられた家庭的保育事業における家庭的保育者の質の確保のため、すべての家庭的保育者が、必要な基礎知識や技術などを取得することが出来るよう、研修体制の整備充実に務めること。児童養護施設等の要保護児童が入所する施設において、子どもに適切な支援が行えるよう、施設の最低基準や措置費の見直しを図ること。仕事と家庭の両立支援の促進のため、雇用環境の整備等について事業主が策定する一般事業主行動計画の策定・届出の義務づけの対象範囲を従業員101人以上の企業に拡大するとともに、その周知及び行動計画の策定等の支援に努めること。

## 臨時市議会が開催されました。

4月2日から6日まで臨時市議会が開催されました。

この臨時市議会では、地方税法が平成21年3月31日に一部改正されたことに伴い、「飯塚市税条例等の一部を改正する条例」「飯塚市国民健康保険条例の一部を改正する条例」が、同日付で市長の専決処分が行われましたので、市議会の承認を求める案件と、わたしの監査委員辞任に伴い後任の監査委員の選任について市議会の同意を求める案件が審議されました。

また、市議会の各常任委員会、議会選出の各種委員等の選出が行われました。

## 市議会会派名称「民主」に変更

臨時市議会の開催に合わせて、これまで市議会では「民有クラブ」の名称で4名の議員で会派を構成していましたが、民主党公認のわたしと松本議員と2名で「民主」の名称で会派を結成しました。(これまで同一会派でした市場議員と田中廣文議員は、新たに2名の議員を加え4名で「市民クラブ」を結成されました。)

残された任期の後半2年間は、「民主」と「市民クラブ」は、飯塚市の発展と市民の皆様の生活環境の向上に話し合いを行いながら取り組んで参ります。

どうぞ、変わらぬご支援をよろしくお願い致します。

## 中小企業の現状について聞き取り調査

機械・金属の中小企業で働く人たちから現在の不況下での職場の厳しい稼働状況の実態について話を聞く機会がありました。

想像以上に地場の中小企業の置かれている現状は大変な状況にあると感じ、地方議

会での対応では限度が有ると考え筑豊出身の大島九州男参議院議員(比例区)に連絡を取り地元の現状を視察して、中小企業を経営する人たち、働く人たちの声を国の支援策に反映するように要望致しました。

景気悪化が続く中、地元選出の民主党国会議員らでつくる党県連緊急雇用対策本部(本部長・松本龍党県連代表)のメンバーが14日、麻生太郎首相のおひざ元・福岡8区内の直方市と鞍手町にある中小企業3カ所を回り、現地調査をした。事業主らは「業績は厳しく、限界にきている」と窮状を訴えた。

直方市上頓野の鍛造会社「林フォーシング」では、林英雄社長(70)が受注減で派遣社員1人の雇用止めを余儀なくされた現状を訴えた。「2月から生産量が2割減。円高もあって人件費の安い海外へ発注がシフトしており、これからさらに悪くなる」と嘆いた。また、市内の別の半導体関連会社は従業員削減はせず、生産調整や公的な緊急融資を

受けてしのいでいるという。役員は「自宅待機が続けば従業員のモチベーションにも響く。いちばん大変なのは借金返済が重くのしかかる景気回復後だ」と頭を抱えていた。

視察したのは大島九州男参議院議員(九州比例)や飯塚市議ら。党県連は聞き取りした内容を党本部に報告し、政策に反映させるよう働きかけるといふ。

【入江直樹】

# 中小企業窮状訴える

直方市 鞍手町 地元民主党議員が視察

3/15(日)

毎日新聞  
2009年(平成21年)  
3月15日(日)



## 介護保険料徴収方法について市長に要請

平成21年2月23日、福岡県退職者団体連合福岡遠賀川地域協議会の代表者3名の方と同行して、飯塚市長へ、現在政府では4月以降準備の整った自治体から介護保険料の年金から自動的に介護保険料等の特別徴収(天引き)と口座振替の選択制について実施をめざして検討中とのことですが、飯塚市では高齢者の年金はまず本人に全額支払い、介護保険料の徴収については口座振替で行うように検討するように申し入れをしました。

## 「自治基本条例」を考える勉強会開催

「自治基本条例」についての取り組みについては、以前にも報告させて頂いていますが、飯塚市議会34名中27名でこれからの地方自治を考える任意の会として「自治基本条例を考える議員の会」を発足し、この会の主催で、4月11日(土)立岩公民館で「地方自治のこれから—自治基本条例を考える—」と題して、北九州市自治基本条例策定委員会委員長の木佐茂男九州大学大学院教授の講演を開催いたしました。

今回の講演には、多くの市民の方、行政関係者が参加して熱心に飯塚市の地域のルールづくりについての必要性について耳を傾けていました。

### 自治基本条例を考える議員の会 趣意書

2000年の地方分権一括法によって、自治体は自身が担う地域の仕事の全てについて、地域のルールを自ら制定できるようになりました。その地に暮らす人々に一番近い場所で、地域のルールを決めることこそ、自治の本旨であるという理念が制度として実現され、市民による地方自治の制度的な基礎条件が整ったのです。しかし、市民によるルールづくりやそのための議論が必ずしも活発になったわけではありません。今こそ、地域での課題解決に取り組み、市民や議員、自治体職員らがそれぞれの知恵や経験を共有して、そのための条例づくりをめざすことが求められています。

私たち、自治基本条例を考える議員の会は「飯塚市民が自ら定める地域のルール—自治基本条例」の役割がこれまで以上に重要となっていることを認識し、学び、考えていくことで、市民による自治のルールとなる条例づくりを活性化し、地域の自治、豊かな市民社会の実現を目的に広く調査・研究活動を行っていくことを目指します。

## 嘉穂高校グランドバックネット整備

県立嘉穂高校の保護者の方から、野球部が練習しているグラウンドのバックネットの支柱が腐食しているのでは事故が起こるのではないかと心配しているとの相談が在りましたので、吉柳県会議員に保護者の思いを伝え、県の予算で改修が出来ないかお願いしていましたが、この度、改修整備が完了致しました。また、県立嘉穂東高校の食堂の厨房設備の一部不備についても相談が在りましたので、この件も吉柳県会議員にお願いをして県の予算で設備の一部入れ替えが完了いたしました。



(吉柳県会議員と県立嘉穂高校グラウンドにて)